

充実の設備を備えたN1 主体的な学びを支援する

2014年6月、金城学院大学に待望のN1棟が完成しました。

地上6階建ての建物には最新設備を備えたスタジオや音楽ホールをはじめ、学生たちが主体的に学習するラーニングcommonsや開放的な食堂などがあり、常に多くの学生たちが利用しています。建物は省エネルギーやCO₂排出量の削減など、環境に配慮。大規模災害が発生した場合も避難待機所として利用可能です。

スタジオやホールをはじめ 女性に優しい空間も

エラ・ヒューストン記念礼拝堂を囲むような形に建てられたN1棟には、学生が主体的に学べるような先進設備が備えられています。約200席を有する1階の音楽ホール「リリーハーモ

ニー」は「響き」を重視した設計で残響時間を従来より約1.6倍確保。音楽芸術学科の演奏会や各学科のプレゼン、各種講演会など多彩な用途に使用されます。

地方テレビ局と同等の機材を備えた2階・3階のスタジオは国際情報学科の学生がテレビ番組の撮影や編集・

ます。さらに最新のCALL(語学学習専用のコンピュータ)システムを備えたCALL教室では、全学科の学生が動画教材を用いた英会話やリスニングの授業で使用します。

明るく開放的な学生食堂・リリーノースではお惣菜の量り売りやビュッフェコーナーを配置。リリーカフェではフレッシュジュースなど女性に人気のメニューを提供します。また清潔感漂うパウダールームや品数豊富な生協購買も充実。女性に優しく快適な空間を備え、学びやキャンパスライフをより豊かに演出します。



リリーノース(学生食堂)

放送などを行います。また日本語日本文化学科のアナウンス技術論の講義でも利用します。

3階にはラジオブースを設置。こちらも主に国際情報学科の学生がアナウンス技術など、さまざまな表現技術を学ぶために使い



スタジオ



リリーハーモニー(音楽ホール)



ラジオブース

棟を竣工 スペースも



N1棟外観

開放的な学習スペース ラーニングcommons誕生

N1棟3階にある「ラーニングcommons」は学生の学習スペースとしてさまざまな活動に使われています。空間を三つのエリアに分割。広々としたグループワークエリアには、グループで課題作成やディスカッションが行えるように可動式のテーブルやチェアが配され、19台のパソコンやカラープリンター、ホワイトボードも用意されています。ここは予約なしでも自由に利用できるため、授業の空き時間に勉強する学生の姿も多く見られます。

落ち着いた空間のミーティングエリアは予約制で利用できるスペース。毎週行われるESSの「英会話ランチ」など、サークルやゼミの活動に多く利用されています。「周囲が賑やかなので、リラックスして英会話の勉強が楽しめます」とESSの学生にも評判です。

ラーニングcommonsの最奥にあるプレゼンテーションエリアは、その名の通りゼミやクラブ・サークルの発表やイベントなどが行える予約制のスペースです。大型ビジョンへの投影もでき、大

勢の人々に日頃の活動や研究成果を発表することができます。

廊下との壁はすべてガラス製で、生協も隣接。「開放的な雰囲気を利用しやすい構造にしました」と成瀬正春副学長は話します。また「学生たちが勉強やミーティングを行う姿をほかの学生が目にすることで学習意欲が刺激されることにもつながると思う」といい、「図書館とはまた違って、思い思いのスタイルで勉強に取り組めるのが魅力。上手に使い分けて利用してほしい」とも話します。

テーブルには消しゴムのゴミを入れる小さな器、イスには鞆を入れるカゴも設置されるなど女子大学ならではの気配りも見られます。「学生の間で評判が広がり、自主的に利用する学生も増えてきました」と成瀬副学長は学生の主体的活動の高まりを喜んでいます。今後もプレゼンテーションセミナーや資格取得の体験談を聞く会などを開催予定。ますます学生にとって魅力的な学びの場となっていきます。



グループワークエリア



ミーティングエリア



プレゼンテーションエリア